

I. 2020年3月期 第3四半期 決算総括

単位: 億円
% = 前年同期比

IoT・セキュリティ・クラウド等 法人ストック継続増収 +10.0%^{(*)1}
想定上回り増益推移・過去最高益更新中^{(*)2} (除くWAN)

3Q19累計	売上収益	1,506.9 億円	+7.9%	3Q19	売上収益	514.7 億円	+6.3%
	営業利益	60.6 億円	+51.4%				
					営業利益	27.1 億円	+58.9%

◆ 法人モバイルサービス 25.1%増収^{(*)4}

- ・ フルMVNO売上 11.2億円 計画通り伸長
- ・ 配車・ドラレコ・見守り等 IoT案件順次積み上げ
法人回線数 71.1万(+21.5%)

◆ セキュリティサービス 17.4%増収

- ・ SOC・エンドポイントとサービス領域拡張
MDR(Managed Detection & Response)へと進化
- ・ セキュリティGW・DDoS防御他でクロスセリング強み

◆ クラウドサービス 16.2%増収

- ・ 企業システムはコンスタントにクラウド化
- ・ マルチクラウド/クラウド間閉域接続等で強み
- ・ 今後 白井(東日本)・松江(西日本)DCに基盤順次集約

◆ SI 需要旺盛継続

- ・ システム構築: 売上 +25.5%・受注 +7.8%
- ・ NW構築・セキュリティ/クラウドSI・ネットBtoCシステム・
リモートワーク環境等で幅広い業種から案件受注

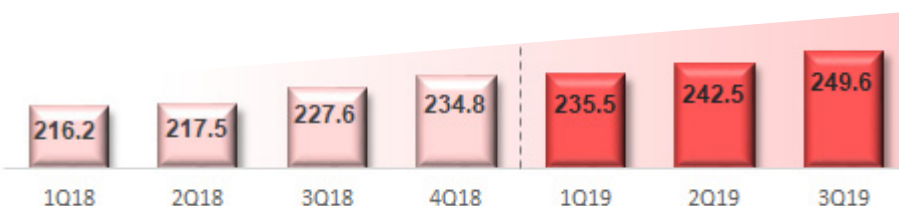
◆ ローカル5G需要に商機

- ・ NW・システム構築・運営へ 技術供与・アウトソーシング
- ・ 住友商事・CATV各社とJV「グレープ・ワン」設立
CATV他にローカル5G基幹機能提供

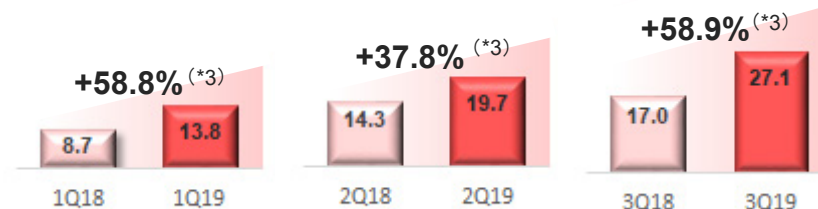
◆ 配信事業/JOCDN 体制強化

- ・ 民放各局に加えNHK参画・1億円出資(20年1月)

法人ストック積上げで売上基盤拡大^{(*)1}



NW・SI粗利拡大で構造的に営業利益伸長



(*)1 法人ストック売上: 法人インターネット接続(MVNE除く)、アウトソーシング、SI運用保守の合計額。個別変動要因のあったWAN売上は含めておりません。

(*)2 3Q19累計及び3Q19各々の営業利益、税引前利益、四半期利益及び親会社の所有者に帰属する四半期利益を指します。2019年3月期については、下記(*)3記載の利益と比較しております。

(*)3 ドコモ モバイル接続料単価改定に伴うNWサービス原価一括追加計上(4Q18 20.5億円)を本来の帰属期間に配分した前年同期比実績での増収率を記載しております。

(*)4 法人モバイル売上: IIJモバイルからMVNE分を除外し算出しております。



日本のインターネットは1992年、IIJとともにはじまりました。以来、IIJグループはネットワーク社会の基盤をつくり、技術力でその発展を支えてきました。インターネットの未来を想い、新たなイノベーションに挑戦し続けていく。それは、つねに先駆者としてインターネットの可能性を切り拓いてきたIIJの、これからも変わることのない姿勢です。IIJの真ん中のIはイニシアティブ

IIJはいつもはじまりであり、未来です。

事業等のリスク

本資料の記載のうち、過去または現在の事実に関するもの以外は、将来の見通しに関する記述に該当します。将来の見通しに関する記述は、現在入手可能な情報に基づく当社グループまたは当社の経営陣の仮定及び判断に基づくものであり、既知または未知のリスク及び不確実性が内在しています。また、今後の当社グループまたは当社の事業を取り巻く経営環境の変化、市場の動向、その他様々な要因により、これらの記述または仮定は、将来実現しない可能性があります。